

### 近畿盲学校卓球大会に出場しました！

2月2日(木)に福井盲学校で近畿盲学校卓球大会が開催されました。特急サンダーバードで移動中にどんどん雪が増え、福井駅では周り一面雪景色でした。3年ぶりに開催された大会でしたが、どの試合も白熱し、試合を通して他の学校の選手と交流ができました。生徒からは「すごいスマッシュやったわ」「今日はいつもしていたミスを少なくできたわ」など色々な話を聞くことができました。寒い体育館での練習を乗り越え挑んだ大会では、生徒自身たくさんのことを学びました。



### 「みんながんばれ！」卓球大会壮行会

近畿盲学校卓球大会が開催されるのに先立ち、出場する生徒を激励するための壮行会が、生徒会主催で1月30日に行われました。昼休憩に児童・生徒・職員が玄関ロビーに集まり、理療専門部生徒会会長の司会で、校長先生の激励の言葉、生徒会を代表して保体部長の挨拶、出場する4名の生徒から抱負の言葉、顧問の先生の挨拶と続きます。このほど中高部生徒会の新役員になった保体部長は「練習の成果を十分に発揮して頑張ってください」と、落ち着いて堂々と挨拶してくれました。壮行会は学校の代表である選手たちを応援するとともに、みんなで一体感を高める恒例の取り組みとなっています。

### わかやまジビエ出前授業

2月13日(月)、「わかやまジビエ出前授業」を行いました。一般財団法人和歌山県猟友会女性部の方2名が来校され、「ハンターのおはなし」及び「獣毛筆作り教室」をしてくださいました。これは、児童生徒が和歌山の自然や文化、産業への理解を深めること目的に和歌山県が今年度から実施しているものです。

給食でジビエ肉を使った献立が提供されたことはありますが、いのししを触ったことのある児童はいません。そこで、事前にいのししの頭骨と毛皮を触り、いのししへのイメージを膨らませました。いのししの頭骨と毛皮は、和歌山県立自然博物館と、わかやまジビエ処理施設である「いの屋」さんから貸出していただきました。

最初に、いのししやアライグマがなぜ農作物を荒らすのかについてみんなで考えました。動物たちが暮らしていた山を人間が切り開いたため食べ物を探すのが大変になったことなどが原因だそうです。害獣と呼ばれる動物たちにも言い分があることを知りました。

次に、アライグマの背中と尻尾の毛を使って獣毛筆を作りました。作った筆で模造紙に絵を描き、感触を確かめました。

ハンターさんは朝6時に狩りに出発すると、戻るのは夕方4時頃というお話も聞くことができました。普段、なかなかできない体験ができた貴重な出前授業となりました。

